

リカバリーについて 2つの見解

『個人の姿勢、価値観、感情、目的、技量、役割などの変化の個人的な過程である。疾患によりもたらされた制限を備えていても、満足感のある、希望に満ちた、人の役に立つ人生を生きることである。精神疾患の大きな影響を乗り越えて成長し、人生に新しい意味や目的を見出すことでもある』

(アンソニー)

『リカバリーに普遍的な定義はなく「個人的なもの」「自分らしく生きること」「選択することができる」「役割」「つながり」「治療の成果ではない」とし、「我々の生化学的な部分を変えるのではなく、生活・人生を変えること』

(パトリシア・ディーガン)

<出典>

『精神障がい者ピアサポート専門員養成のためのテキストガイド第3版—「精神障がい者ピアサポート専門員養成ガイドライン」改定版—』 2015年3月 一般社団法人 障がい者福祉支援人材育成研究会